

2021年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(春期・一般選抜) 問題

専門科目Ⅰ 日本思想史 専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

成	
績	

2021年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(春期・一般選抜) 問題

専門科目 I (**日本思想史** 専攻分野)

一、今後研究しようとするテーマについて、次の二点を記しなさい。(各二〇行程度)

(1) これまでの先行研究の問題点

(2) 今後の研究計画

二、日本思想・文化における「翻訳」の問題について、自由に論じなさい。(二〇行程度)

三、次の史料を、論理の流れをわかりやすく整理して、要約しなさい。(二〇行程度)

吾東洋ノ表面ニハ、已ニ恐ル可キ弊害ヲ

醸生シタリ。今謹ンデ吾東洋ノ形勢ヲ察スレバ、三四十年来、頻リニ欧米ノ文明來航シ、文化大ニ進歩セシガ如シト雖モ、其實況ヲ觀察スレバ之レニ反スルモノ甚ダ多シ。即チ道理ヨリ以テ之レヲ考フルトキハ、国家ハ文明ニ趣クニ随テ、次第ニ富強ニ趣キ、人民ハ開花スルニ随テ、次第ニ智識ヲ開発シ、人情モ亦随ッテ次第ニ高尚ニ至ラザル可カラズ。然ルニ豈^{まさ}図^はラシヤ。国財ハ已ニ欠乏ヲ告ゲ租賦ハ月ニ益々重キヲ加ヒ、民財ハ殆ド余裕ナキニ至ル。人心ハ^{いふ}弥^{いふ}狡猾ニ趣キ、益卑劣ニ流シ、而シテ徒ニ虚飾之レ事トシ、矜^{おご}著^{おご}是レ業トス。徳義ヲ顧ズ。罪犯ヲ耻ザルノ極ニ達ス。其弊実ニ挙ゲテ云フ可ラザルナリ。是レ偏^{ひとへ}ニ泰西ノ外面ノミヲ学ビテ、而シテ其内心ヲ習ハザルノ致ス所ナリ。即チ泰西ノ其カハル文明ヲ致セシ所以ノモノハ、抑々何ニアルカト云フ其本元ヲ問ハズシテ、其枝葉ノ美麗ノミヲ是レ^{むさ}貪^{むさ}リ、其枝葉ノ由ツテ以テ生ジタル、自由ナル本元ヲ想ハザルニアリ。語ヲ換^かテ之レヲ言ヘバ、沐^あ猴^まノ人^{ひと}ヲ擬スルガ如シト云ハザルヲ得ズ。何トナレバ家屋器具衣服飯食言語文字等、皆是レヲ泰西文明ノ風ニ取ルト雖モ、其人類ノ命脈ノ係ル、政治ノ精神ニ至リテハ、依然トシテ專制ヲ固守シ、余ガ眼ヲ以テスルトキハ、未ダ一步モ文化ノ域ニ向テ、進行ヲ試ミザル

* 沐猴ノ人ヲ
擬ス 猿の人ま
ね

(30) 無駄なもの

* 眼メタリ 努
力する

(31) 法則
(32) ほしいまま
におさえる

(33) 宗教

ガ如シ。是^し抑^も何ニ由テ然ルカト云ハビ、乃チ未ダ上^{じやう}下^げノ人民、等^びシク自由ナルモノハ、真味ヲ了解セザルニアリト云ハザルヲ得ズ。故ニ治者タルモノハ、自由ヲ以テ自己ノ仇敵ノ如ク思ヒ、又被治者タルモノハ、自由ヲ以テ無用ノ冗物^{じやうぶつ}ノ如キ感^{かん}ラ懷^{いだ}ケリ。豈嘆ズベキコトナラズヤ。夫レ自由ヲシテ、カハル不幸ノ地ニ陥^{おち}ラシムルモノハ、果シテ何人ゾヤ。先導者タルモノハ、自由ノ真味ノ容易ニ国家人民ニ、知り得ラルノ方法ヲ、設立セザルノ罪ニアラズシテ何ゾヤ。然カモ吾先導者ハ、更ニ之レヲ力^{ちから}メザルト云フニハアラズ。実ニ之レヲ眼^{まなこ}メタリト雖モ只之レヲ知ラシメ能ハザルノミ。其之レヲ知ラシメ能ハザル所以ノモノハ、其人情風俗、智識ノ高卑、文芸ノ浅深ヲ量リ、以テ其方法ヲ設立スルコトヲセズ。唯泰西人ノ行爲ヲ模倣^{まかりかた}シテ以テ自由ノ真理ヲ知ラシメント欲シタルニ依レリ。然リ而シテ、余ハ吾東洋人民ニ、自由ノ真理、美味ヲ熟知セシムルコトハ、誠^{まこと}ニ至難至困ノ事業ナリト云ハザルヲ得ザルナリ。是レヲ吾國ニノミ就テ論ズレバ、則チ神代^{かみよ}ハ世^よ漠^{はく}トシテ知ル可カラズトスルモ、其神武即位以來ハ、武カラ以テ天下ヲ征服スルノ規矩^{ききく}トナシタリ。故ニ撞^つ制^{せい}威^い圧^{えつ}ノ外ハ、未ダ一モ以テ人民ノ規矩トス可キモノヲ見ズ。其十六代応神ノ朝ニ至リテ、文学初メテ来リ、其后中世ノ初メニ至リテ、仏教来ル。之レニ依リテ、人道漸ク立ツガ如シト雖モ、然レドモ其學問ハ乃チ周ノ道德仁義ノ學問ナリ。其教法^{きやうはふ}ハ乃チ印度ノ偶像教ナリ。其政治ハ則チ郡県制ト封建制トノミナリ。是等政治學問教法ハ、人民自主自由ノ權理^{けんり}ヲ保護スト云ハンヨリ、寧ロ卑屈奴隸ノ案内者タリト云フヲ得ベシ。

(館野芳之助『自由東道』より)

受験記号番号

3/6

受験記号番号

4/6

受験記号番号

5/6

受験記号番号

$$\frac{6}{6}$$